



ふれあい

令和5年度9月吉日
京都市立第三錦林小学校
校長 吉岡 健一郎

前期学校評価（7月）の結果より

【確かな学力】

～学ぶ力を十分に引き出し
学びに向かう積極的な姿勢を
育てる～

A…よくできている B…大体できている
C…あまりできていない D…できていない

「学習のめあてが達成できている・学んだことを身につけている・確かな学力が身に付くようにしている」「基礎的・基本的な学力の定着」の設問に
対して、昨年度12月の結果とほぼ変わりはなく、できていると回答したものがいずれも9割を超えています。しかしながら保護者については「わが子は
基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身についている。」においてC回答が7%増加しており、「家庭学習の習慣が身についている。」「意欲
的に学習に取り組んでいる。」においても、C回答が増加しています。このことから、約8割の人が学力の向上を実感しているが、学力の定着、学習意
欲、家庭学習の習慣化に不安を感じる人が増えつつある状況が見て取れます。学力定着と家庭学習の習慣化には深い結びつきがありますので、学校
でも家庭学習の習慣化に向けて取り組んでいきたいと思います。ご家庭でも見守りや声かけ等、ご協力をお願いします。

学校では、子どもたちの意欲を引き出す授業、一人一人の子どもに合った教育を目指して改善を続け、子どもが課題意識をもって自ら取り組んでい
けるような学習の進め方を提案していきたいと思います。

子ども					保護者				教職員					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
まいにちのがくしゅうのめあてが たっせいできている。	40%	48%	9%	2%	わが子は、学んだことを身につけ ている。	21%	73%	5%	1%	確かな学力（思考力・判断力・表 現力）が身につくようにしている。	13%	81%	6%	0%
よんだりかいたりけいさんしたり するちからがみについている。	54%	38%	6%	2%	わが子は、基礎的・基本的（読む・書く・ 計算する）な学力が身についている。	24%	62%	14%	1%	基礎的・基本的（読む・書く・計算す る）な学力が身につくようにしている。	13%	81%	6%	0%
いえですすんでもがくしゅうするしゅ うかんがついている。	40%	33%	23%	3%	わが子は、家庭学習の習慣が身に ついている。	23%	53%	21%	3%	自主的・計画的な家庭学習の習慣 が身につくように工夫している。	19%	69%	0%	13%
じゅぎょううちゅう、しゅうちゅう してがくしゅうにとりくんでいる。	50%	40%	8%	2%	わが子は、意欲的に学習に取り組 んでいる。	20%	56%	22%	2%	意欲的に学習に取り組めるように 工夫している。	19%	81%	0%	0%

【健やかな体】

～生きる力を高める～

昨年度12月の結果と比べて、生活習慣と運動習慣を問う設問では「できていない」に、掃除や整理整頓に関する設問では「できている」に、それぞれ増加が
見られました。「早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べている。」の設問は、子どもからの回答では約8割ができていると回答があり、保護者・教職員は約
9割ができていると回答していました。一方で、約2割の子どもはできていないと回答しており、詳しく見てみると学年が上がるごとにできていないと回答する割合
が増えていました。習い事や家庭学習などの影響で遅くなっていることが考えられます。夜更かしをすることで朝起きる時間が遅くなると、余裕をもって朝ごはん
を食べることができません。学校では折に触れて早寝・早起きを呼びかけています。ご家庭でも早く寝られるようにお声かけをお願いします。

「進んで運動している。」の設問では、子ども・保護者・教職員共に約2割ができていないと回答しています。今年の夏は猛暑で、外で遊べないような日々が続
きました。学校でも環境省が発出している熱中症アラートなどを参考に、休み時間の運動場使用を見送ることがありました。秋には暑さも徐々に和らぎ、スポーツ
大会もあります。運動の楽しさを味わう機会として、学校あげて取り組んでいきます。

子ども				保護者				教職員						
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
はやね・はや起きをして、あさご はんをしっかりたべている。	53%	28%	15%	4%	保護者は、わが子が早寝・早起きをして朝ごは んをしっかり食べられるようにしている。	27%	62%	11%	0%	基本的な生活習慣が定着するよう に取り組んでいる。	13%	75%	13%	0%
そうじやせいりせいとんをきちん としている。	42%	41%	12%	4%	学校は、清掃等が行き届き、整理 整頓がされている。	31%	65%	2%	2%	校内の美化に向けて、積極的に取 り組んでいる。	13%	88%	0%	0%
すすんでうんどうしている。	54%	26%	13%	6%	わが子は、進んで運動している。	35%	44%	20%	1%	進んで運動できる工夫をしている。	13%	69%	19%	0%

平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、夏休み前の学校評価にご協力いただきありがとうございました。また同時期、児童には日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。

私たちは保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、7月の結果をお伝えするとともに、結果から見えてくる課題について分析し、今後の取組に生かしていきたいと思います。

【豊かな心】

～豊かな人権感覚を育てる～

A…よくできている B…大体できている
C…あまりできていない D…できていない

昨年度12月の結果と比べて、どの項目も大きな変化はありませんでした。挨拶に関する設問では、約9割の子どもがA・Bと回答していることに対し、約3割の保護者がC・Dと回答しており、大きな差が見られます。知っている友達や先生には挨拶をしているものの、家庭や地域では挨拶ができないかもしれません。教職員から声をかけられてからではなく、自分から、誰に対しても気持ちの良い挨拶ができるようになってほしいです。

友達に関する設問では、子ども・保護者・教職員共にほぼ全員がA・Bと回答しています。「子ども一人一人を大切にする学校づくり」の設問では、教職員全員がA・Bと回答していますが、「学校に来るのが楽しい」という設問に対して、16%の子どもがC・Dと回答しており、ここにも差が見られます。どの子ども安心して楽しく学校に通えるよう、教職員一同一層の努力をして参ります。

「困ったことは先生や家族に相談している」の設問では、保護者・教職員は会話する機会を積極的に設けていると回答している一方で、17%の子どもが相談できていないと回答しています。今後も子どもたちの様子を見取り、必要に応じてしっかりと話を聞けるよう、にしていきます。

子ども					保護者				教職員					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
じぶんからすすんであいさつをしている。	53%	36%	6%	4%	わが子は、自分から進んで挨拶をしている。	20%	53%	24%	3%	進んで挨拶できるように取り組んでいる。	19%	69%	6%	6%
がっこうにくるのがたのしい。	53%	31%	11%	5%	わが子は、学校にいくのが楽しいと言っている。	42%	47%	9%	2%	子ども一人一人を大切にする学校づくりをしている。	31%	69%	0%	0%
ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	72%	26%	2%	0%	わが子は、友達を大切にし、仲良くしている。	53%	43%	5%	0%	友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	44%	50%	6%	0%
こまつたことはせんせいやかぞくにそだんしている。	50%	33%	12%	5%	保護者は、わが子と会話する時間をとっている。	30%	67%	3%	0%	子どもと会話する機会を積極的に設けている。	44%	50%	6%	0%

【独自の取組】

～子どもたちの主体的な学びを目指して～

「子どものよさを認め、ほめている。」の設問で、保護者・教職員の9割以上がA・Bと回答しているのに対して、「自分のよいところがいえる。」の設問では、C・Dと答えた子どもの数が9%増加し、3割を超えています。保護者・教職員は一人一人の子どもがもつよさを認め、伸ばそうとしている一方で、自分のよさを実感できていない子が多いことが伺えます。これまで取り組んできたことですが、より一層一人一人の子どもの姿を見取り、色々な子が活躍できる場面を意図的に仕組み、認め、ほめながら、子どものよさを伸ばしていきたいと思います。

一方「進んで読書をしている。」の設問では、8割を超える子ども・教職員がA・Bと回答しているのに対して、「わが子は、読書に親しんでいる。」の設問ではC・Dと答えた保護者の数が4%増加し、4割を超えています。毎朝の朝読書の時間では落ち着いて読書に取り組む子どもたちの様子が見られますが、日常的な読書の習慣化にはつながっていないことが読み取れます。ご家庭でも図書館に行ったりするなどして、本が手元にある環境を整えていただけた幸いです。

子ども					保護者				教職員					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
がっこうからのおたよりをおうちのひとにわたしている。	60%	28%	11%	1%	保護者は、ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を理解している。	21%	70%	9%	0%	学校ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を発信している。	13%	81%	0%	6%
いえやがっこうのルールをまもっている。	49%	44%	5%	1%	わが子は、家庭や学校のルールを守っている。	25%	67%	7%	2%	学級や学校のルールを守ることができるように取り組んでいる。	6%	94%	0%	0%
じぶんのよいところがいえる。	33%	32%	25%	9%	保護者は、子どものよさを認め、ほめている。	20%	76%	5%	0%	子どものよさを認め、ほめている。	56%	44%	0%	0%
すすんでどくしょをしている。	55%	27%	12%	5%	わが子は、読書に親しんでいる。	25%	29%	38%	8%	意欲的に読書ができる工夫をしている。	31%	56%	13%	0%

～自由記述から～

☆「下校時刻がいつもより早くなる場合は事前に、明確に教えていただけますとありがとうございます。学校だよりの月予定にある校内研の表記では、該当クラス以外の下校が、特別五校時になると理解するのは難しいものがあります。下校時刻が1時間違うだけでも、いろいろと調整が必要な場合がありますので、ご検討いただけますと幸いです。」

★ご迷惑をおかけして申し訳ございません。下校時刻の変更についてはご家庭に大きく影響することだと思います。2学期も下校時刻を変更することがあります。学校だより・ホームページ・学年だより等複数の方法を駆使して、事前に周知させていただきます。

☆「スクリレアプリが使えるようになって、都合のよいタイミングで簡潔に遅刻欠席の連絡が出来るようになり、大変助かっています。」

★スクリレの運用についてご意見をいただきました。現在多くの方が遅刻欠席の連絡に利用しており、好評をいただいている。今後とも改善を重ねていきますので、お気付きのことがあれば都度ご連絡いただけると幸いです。

上記のほかにも多数、ご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。ご意見・ご感想にすぐに対応することができない部分もありますが、いただいたご意見等を真摯に受け止めなければと感じております。今回のアンケート結果を今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますよう、お願ひいたします。